

平成27年度 ★実施計画 個別評価シート（26年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	373 道路維持補修事業									
総合計画	めざまちの姿	5	調和のとれた便利なまち		担当部	都市整備部					
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路			担当課	土木管理課					
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	02	目	道路維持費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	道路施設管理運営費			細事業名 (事業2)	道路維持補修事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民					
事業期間	開始年度				終了予定年度						
事業の目的	道路交通の安全性及び利便性を確保する。										
事業の概要	市道の安全性及び利便性を確保するための維持管理。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	境界立会い、測量。 修繕工事。（道路・道路反射鏡）										
課題	工事を行うに当たり、緊急性・公共性の見極めが重要となる。 今後、橋梁等の長寿命化に多くの工事費が掛かる										
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成25年度		平成26年度		平成27年度				
		決算（見込）額	72,291 千円		80,679 千円		108,597 千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	25,287 千円		18,251 千円		26,352 千円				
		一般財源	71,498 千円		60,845 千円		82,245 千円				
	人件費 (B)		3,732 千円		4,942 千円		4,998 千円				
	人工（職員数の内訳）		0.47 人		0.64 人		0.64 人				
	トータルコスト (A) + (B)		100,517 千円		84,038 千円		113,595 千円				
活動指標	内容		単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	修繕工事等の実施件数		件	目標	28	70	75				
				実績	63	91					
		達成度	225.0%		130.0%						

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 道路交通の安全性及び、利便性を確保するため、継続して実施する。	
------	--	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	緊急性、公共性を考慮し判断していく。 橋梁等の長寿命化に取組んでいく。

平成27年度 ★実施計画 個別評価シート（26年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	376 大森新道線道路改良事業									
総合計画	めざまちの姿	5	調和のとれた便利なまち			担当部	都市整備部				
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路				担当課	土木建設課				
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	03	目	道路改良費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	道路改良費			細事業名 (事業2)	大森新道線道路改良事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営			対象	全市民				
事業期間	開始年度	平成19年度		終了予定年度	平成27年度						
事業の目的	通行に危険を伴う線形の改良と歩道を整備することにより、利用者の安全と利便性の向上を図る。										
事業の概要	自動車及び歩行者の増加に伴い、歩道の設置と交差点の改良事業を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績	工事 L=248.3m 用地買収 A=194.52㎡ 物件補償 N=2件（電柱）										
課題	道路用地の買収困難者への対応 事業予算の確保										
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成25年度		平成26年度		平成27年度				
		決算(見込)額	35,119 千円		19,116 千円		48,650 千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	20,130 千円		23,745 千円		33,620 千円				
		一般財源	13,149 千円		4,245 千円		15,030 千円				
	人件費 (B)	5,773 千円		5,686 千円		4,295 千円					
	人工(職員数の内訳)	0.76 人		0.76 人		0.57 人					
	トータルコスト(A)+(B)	39,052 千円		33,676 千円		52,945 千円					
活動指標	内容		単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	計画に対する整備率		%	目標	72	72	100				
				実績	42	70					
		達成度		58.3%	97.2%						

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 通勤通学等の利用者の安全を確保するための事業であり、総合的に判断しても適切なものである。	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	社会資本整備総合交付金事業であり予定通りH27の完了を目指す。

平成27年度 ★実施計画 個別評価シート（26年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名 事業No	381 小名川1 2号線道路改良事業				
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち		担当部 都市整備部
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路			担当課 土木建設課
関連予算科目	一般 会計	08	款 土木費	02	項 道路橋梁費 03 目 道路改良費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	道路改良費		細事業名 (事業2) 小名川1 2号線道路改良事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象 全市民
事業期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	平成27年度	
事業の目的	本路線を整備することにより、鷺津駅周辺の幹線道路との連続性が確保され、病院利用者を含む歩行者の安全と利便性の向上を図る。				
事業の概要	歩行者の安全と利便性の向上のため、歩道の整備を行う。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	工事 L=82m (H27へ繰越) 物件補償 N=8件 (工作物、電柱) 用地 A=92.74㎡ (H25から繰越) 補償 N=1件 (建物) (H25から繰越)					
課題	物件移転対象者への対応					
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		決算 (見込) 額	66,365 千円	25,365 千円	27,856 千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	54,502 千円	23,493 千円	千円	
		一般財源	22,723 千円	19,044 千円	21,475 千円	
	人件費 (B)		31,779 千円	4,449 千円	6,381 千円	
	人工 (職員数の内訳)		5,233 千円	6,750 千円	9,067 千円	
	トータルコスト (A) + (B)		0.69 人	0.90 人	1.21 人	
		59,735 千円	30,243 千円	36,923 千円		
活動指標	内容	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		計画に対する整備率	% 目標	0	50	100
			% 実績	0	27	54.0%
		達成度				

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 通勤通学、病院等の利用者の安全を確保するための事業であり、総合的に判断しても適切なものである。事業進捗は支障物件の移転の遅延により遅れが生じているものでありやむを得ないものである。	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続
今後の取組内容 (課題に対する改善等)	社会資本整備総合交付金事業であり予定通りH27の完了を目指す。

平成27年度 ★実施計画 個別評価シート（26年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	383	浜名線道路整備事業								
総合計画	めざまちの姿	5	調和のとれた便利なまち		担当部	都市整備部					
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路			担当課	土木建設課					
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	03	目	道路改良費
	予算事業名	基本事業(事業1)	道路改良費			細事業名(事業2)	浜名線道路整備事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民					
事業期間	開始年度	平成22年度		終了予定年度	平成27年度						
事業の目的	本路線を整備することにより、国道1号への接続が改善されることにより、地域交通の安全と利便性の向上を図る。										
事業の概要	自動車及び歩行者の増加に伴い、歩道の設置と交差点の改良事業を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績	工事 L=183.5m (H27へ繰越) 用地買収 A=203.35㎡ 物件補償 N=1件 (工作物、立木)										
課題											
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成25年度		平成26年度		平成27年度				
		決算(見込)額	20,021 千円		72,874 千円		0 千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	42,498 千円		26,276 千円		0 千円				
		一般財源	16,089 千円		9,229 千円		0 千円				
	人件費 (B)		7,933 千円		7,815 千円		5,726 千円				
	人工(職員数の内訳)		1.04 人		1.04 人		0.76 人				
	トータルコスト(A)+(B)		66,520 千円		43,320 千円		5,726 千円				
活動指標	内容		単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	計画に対する整備率		%		目標	43	100	0			
					実績	44	76				
		達成度		102.3%	76.0%						

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 本路線を整備することにより、国道1号への接続が改善され、地域交通の安全と利便性の向上を確保するものであり総合的に判断しても適切なものである。事業進捗は地権者との合意に不足の日数を要したことによるものでありやむを得ないものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続
今後の取組内容(課題に対する改善等)	社会資本整備総合交付金事業(まちづくり交付金)でありH27の完了を目指す。

平成27年度 ★実施計画 個別評価シート（26年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	385 新居弁天IC取付道路整備事業									
総合計画	めざまちの姿	5	調和のとれた便利なまち			担当部	都市整備部				
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路				担当課	土木建設課				
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	03	目	道路改良費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	道路改良費			細事業名 (事業2)	新居弁天IC取付道路整備事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民					
事業期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	平成26年度							
事業の目的	浜名バイパス新居弁天インターのフルインター化に合わせ、取付道路の市道松山弁天線の整備を行うことにより、利用者の安全と利便性の向上を図る。										
事業の概要	浜名バイパスICの整備に併せて取付け道路の整備を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績	工事 L=337m 用地 A=268.08㎡										
課題											
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成25年度		平成26年度		平成27年度				
		決算(見込)額	15,000 千円		40,323 千円		0 千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	27,077 千円		40,543 千円		0 千円				
		一般財源	5,621 千円		24,521 千円		0 千円				
	人件費(B)		4,693 千円		6,218 千円		0 千円				
	人工(職員数の内訳)		0.62 人		0.83 人		人				
	トータルコスト(A)+(B)		37,391 千円		71,282 千円		0 千円				
活動指標	内容		単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	計画に対する整備率		%		目標	52	100	0			
					実績	31	100				
		達成度		59.6%	100.0%						

3. 評価(Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>浜名バイパスICの整備に併せて取付け道路の整備を行い、利用者の安全と利便性の向上を図るものであり、総合的に判断しても適切なものである。</p>	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	社会資本整備総合交付金事業(まちづくり交付金)であり予定通りH26で完了。

平成27年度 ★実施計画 個別評価シート（26年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	387 新所原駅嵩山線道路改良事業					
総合計画	めざまちの姿	5	調和のとれた便利なまち			担当部	都市整備部
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路				担当課	土木建設課
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項 道路橋梁費
	03	目	道路改良費				
予算事業名	基本事業(事業1)	道路改良費			細事業名(事業2)	新所原駅嵩山線道路改良事業	
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民	
事業期間	開始年度	平成26年度		終了予定年度	平成29年度		
事業の目的	本路線を整備することにより、歩道の連続性を構築することにより、利用者の安全と利便性の向上を図る。						
事業の概要	自動車及び歩行者の増加に伴い、歩道の設置と交差点の改良事業を行う。						

2. 事業の実績(Do)

事業実績	工事 L=27.0m 用地 A=71.39㎡							
課題	道路用地の買収困難者への対応 事業予算の確保							
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		決算(見込)額	0	千円	30,627	千円	0	千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	6,705	千円	0	千円
		一般財源	410	千円	17,166	千円	0	千円
	人件費(B)		1,452	千円	3,026	千円	0	千円
	人工(職員数の内訳)		0.19	人	0.40	人	人	
	トータルコスト(A)+(B)		1,862	千円	26,897	千円	0	千円
活動指標	内容		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	計画に対する整備率	%	目標	0	35	0		
			実績	0	24	0		
達成度				68.6%				

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 本路線を整備することにより、歩道の連続性を構築し、利用者の安全と利便性の向上を図るものであり、総合的に判断しても適切なものである。事業進捗は地権者との合意ができず用地取得が遅れているものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続
今後の取組内容(課題に対する改善等)	社会資本整備総合交付金事業であり予定通りH29の完了を目指す。

平成27年度 ★実施計画 個別評価シート（26年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	390 日の岡入出知波田線道路改良事業（弁財橋）									
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち			担当部	都市整備部				
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路				担当課	土木建設課				
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	03	目	道路改良費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	道路改良費			細事業名 (事業2)	日の岡入出知波田線道路改良事業（弁財橋）				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民					
事業期間	開始年度	平成25年度		終了予定年度	平成32年度						
事業の目的	緊急輸送路になっている橋梁を耐震補強することにより、災害時の緊急輸送路の確保を行うとともに、橋梁の補修を行い長寿命化を図る。										
事業の概要	災害時の緊急輸送路の確保と橋梁長寿命化を図るため耐震補強工事を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績	橋梁予備設計（工法検討）（H25から繰越）										
課題	事業予算の確保										
コスト	事業費（A）	当初予算額	平成25年度		平成26年度		平成27年度				
		決算（見込）額	8,000 千円		0 千円		11,000 千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円				
		一般財源	0 千円		4,755 千円		11,000 千円				
	人件費（B）		1,620 千円		1,962 千円		1,909 千円				
	人工（職員数の内訳）		0.21 人		0.26 人		0.25 人				
	トータルコスト（A）+（B）		1,620 千円		6,717 千円		12,909 千円				
活動指標	内容		単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	計画に対する整備率	%	目標			3	3	7			
			実績			0	3				
達成度				0.0%	100.0%						

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 災害時の緊急輸送路の確保と橋梁の長寿命化を図るものであり、総合的に判断しても適切なものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続
今後の取組内容（課題に対する改善等）	防災・安全事業のため、早期の整備方針の決定及び事業の実施が必要である。

平成27年度 ★実施計画 個別評価シート（26年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	392 大知波青平線道路改修事業（今川小橋）									
総合計画	めざまちの姿	5	調和のとれた便利なまち			担当部	都市整備部				
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路				担当課	土木建設課				
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	03	目	道路改良費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	道路改良費			細事業名 (事業2)	大知波青平線道路改修事業（今川小橋）				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民					
事業期間	開始年度	平成25年度		終了予定年度	平成27年度						
事業の目的	橋脚の損傷により交通の危険性がある今川小橋を改修することにより、利用者の安全と生活環境の改善を図る。										
事業の概要	橋梁耐震補強工事を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績	橋脚補強、落橋防止装置等1式										
課題											
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成25年度		平成26年度		平成27年度				
		決算(見込)額	81,000 千円		2,800 千円		0 千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円				
		一般財源	29,560 千円		53,786 千円		0 千円				
	人件費(B)		1,620 千円		3,558 千円		1,432 千円				
	人工(職員数の内訳)		0.21 人		0.47 人		0.19 人				
	トータルコスト(A)+(B)		31,180 千円		57,344 千円		1,432 千円				
活動指標	内容		単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	計画に対する整備率	%	目標	97		100		100			
			実績	35		97					
達成度		36.1%		97.0%							

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	
	損傷の激しい橋脚の耐震補強工事であり、利用者の安全を確保するものであり、総合的に判断しても適切なものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続	
今後の取組内容(課題に対する改善等)	社会資本整備総合交付金事業でありH27完了を目指す。	

平成27年度 ★実施計画 個別評価シート（26年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	384 新居37号線道路整備事業									
総合計画	めざまちの姿	5	調和のとれた便利なまち			担当部	都市整備部				
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路				担当課	土木建設課				
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	03	目	道路改良費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	道路改良費			細事業名 (事業2)	新居37号線道路整備事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営			対象	全市民				
事業期間	開始年度	平成26年度		終了予定年度	平成27年度						
事業の目的	老朽化している洲崎橋の耐震補強を行い、利用者の利便性の向上と地域の交通安全を図る。										
事業の概要	利便性の向上と交通安全を図るため橋梁耐震補強事業を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績	工事 N=1橋 (H27へ繰越)										
課題											
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成25年度		平成26年度		平成27年度				
		決算(見込)額	0 千円		180,350 千円		0 千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		35,678 千円		0 千円				
		一般財源	0 千円		14,322 千円		0 千円				
	人件費 (B)		0 千円		1,430 千円		4,772 千円				
	人工(職員数の内訳)		人		0.19 人		0.64 人				
	トータルコスト (A) + (B)		0 千円		51,430 千円		4,772 千円				
活動指標	内容		単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	計画に対する整備率		%	目標	0	100	0				
				実績	0	4					
		達成度			4.0%						

3. 評価(Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>本橋の耐震補強を実施することにより、利便性の向上と利用者の安全を図るものであり、総合的に判断しても適切なものである。事業進捗は漁協及び他工事との調整結果より施工期間が制限され、年度内施工が出来なくなったものでありやむを得ないものである。</p>	
------	--	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続
今後の取組内容(課題に対する改善等)	社会資本整備総合交付金事業(まちづくり交付金)でありH27の完了を目指す。